

**ここから本題**

**議員対策、クレーム対策**  
 になっていませんか！？  
**捕獲頭数増加が目的**  
 になっていませんか！？

**被害減少。たのしい収穫。**

### 被害の状況(全体)

単位：千円

各年1月～12月	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	4,674	2,888	6,741	18,066	4,722	4,101	269	675
サル	(1,473)	(1,841)	(5,288)	(1,974)	(438)	(1,300)	(77)	(521)
イノシシ	(1,676)	(467)	(714)	(13,992)	(2,963)	(1,998)	(181)	(152)
鳥類	(1,231)	(379)	(739)	(1,477)	(1,302)	(802)	(0)	(1)
その他 (ハクビシ等)	(294)	(201)		(237)	(19)	(1)	(11)	(1)
クマ (養蜂含)				(386)				



**なぜ被害が増えたのか！？**

**(なぜイノシシ、サルが増えたのか！？)**

なぜ被害が増えたのか！？

温暖化！？

狩猟者の減少！？

ほとんど影響しない！

なぜ被害が増えたのか！？

石油が安い

木材が安い

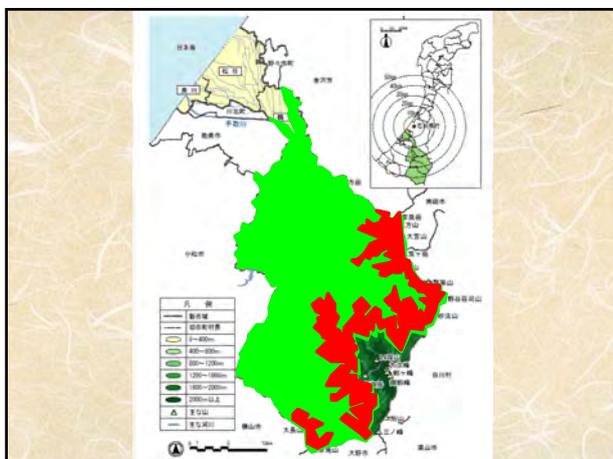
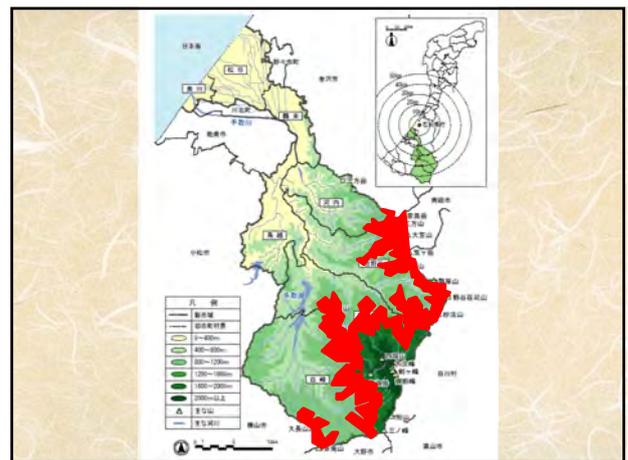
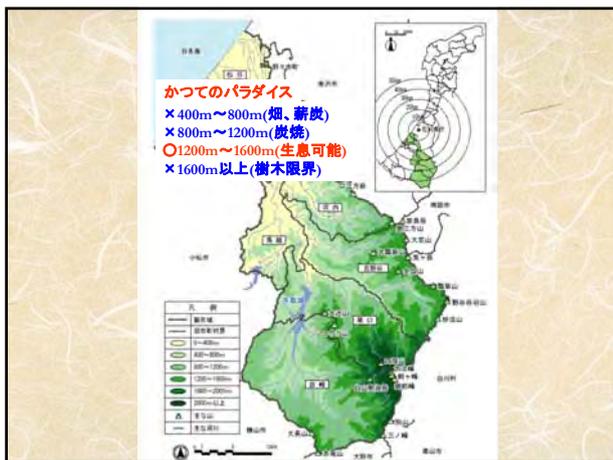
食料が安い

山を使わなくても

衣食住に困らない！

人間が山の占有放棄した。

家の裏までアニマルパラダイス



野生動物のパラダイスは何倍にも！  
(雪と猟師のことを考慮すると何十倍にも)

増えない理由が見当たらない

## 減らす方法はないのか！？

## 減らす方法はないのか！？

山はジャングル。ゲリラ(忍者)部隊の野生動物を全滅させるのは並大抵では困難。

かつての山の状態に戻せば可能かも！？  
(炭焼き、焼畑etc)人工林すら手入れ不足の現状

数を減らさなくても、収穫することは可能では！？

## 捕獲の状況(有害捕獲)

単位：頭/匹/羽

捕獲数	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
サル	70	21	54	55	63	20	100
(内発信器)	(9)	(-)	(9)	(4)	(6)	(2)	(5)
イノシシ	14	8	14	10	45	1	25
鳥類	476	640	905	464	554	340	294
ハクビシ等	10	-	5	11	16	16	22
クマ	27	6	14	8	19	6	12

※有害捕獲のみで狩猟は含まない 平成25年3月末現在

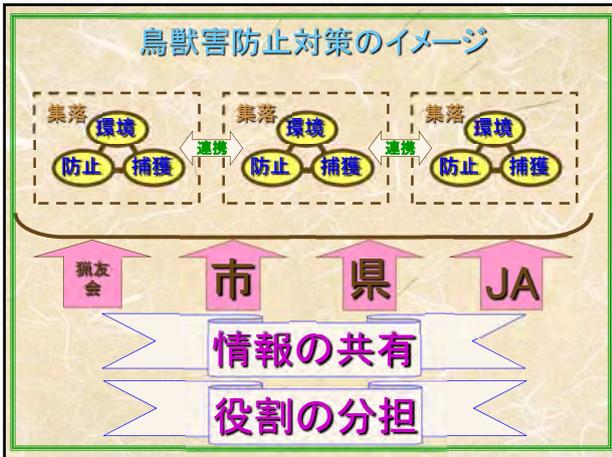
## 白山市における 鳥獣害防止対策 の方針 (収穫するための！！)

## 白山市の方針

- 農家(住民)の知識向上を第一とする
- 集落ぐるみで集落状況に応じた対策を考える
- 「集落環境整備」「侵入防止」「捕獲」をバランスよく実施する
- 「捕獲」や「柵設置」など集落だけでは実施が困難なものについて市役所等が支援する

## 被害対策の3本柱





# 白山市の事業

- ## 白山市 事業(対策の支援)
- 被害調査・集計
  - サルの位置情報の提供
  - 集落勉強会、戦略会議等での助言
  - 各種鳥獣害に関する相談窓口
  - 柵の補助制度
    - ※ (1/2補助)個人2万円、団体100万円
  - 有害鳥獣捕獲(猟友会白山支部委託)
  - 新規狩猟、わな有害捕獲(毎年)支援補助金(銃3万、わな1万、わな有害継続1万)

## 本年度試験場で担当ができた！！

これがめちゃくちゃ大事  
(できる限り現場で相談)

- 集落勉強会、戦略会議等での助言
- 各種鳥獣害に関する相談窓口

通常、一般職の市町職員だけでは対応が困難。  
県の支援体制が必要！！

相談のルート  
農家→市町職員→県農林事務所(鳥獣害チーム)→試験場→国専門家

# 集落の活動状況

## 集落勉強会

知らず知らずのうちにおこなってしまった「餌付」と「人慣れ学習」

サル・イノシシ等動物の習性

効果的な防ぎ方

3つの柱を基本に集落にあった対策の選定が大事

補助金及びその他鳥獣害対策に効果のある事業

### 集落戦略会議



### 集落戦略会議

被害箇所点検



進入箇所の追跡、手直し

### 集落環境整備



### 集落環境整備



### 侵入防止柵設置



### 研修会への参加



もういちど

議員対策、クレーム対策  
になっていませんか！？  
捕獲数、柵延長が目的  
になっていませんか！？

被害減少、たのしい収穫

市町担当者の方へ

1. どんな動物なのか知ろう！
  2. 対策方法を知ろう！
  3. 被害現場はすぐ見に行こう！
  4. どこから来たのか考えよう！
  5. 周囲の状況見てみよう！
  6. いくつかやれることを農家と相談！
  7. すぐにできることからやってみよう！
- ※ わからないことは相談しよう！

くりかえし

読んだことがありますか？



- 何をやるかではなく、どういう順序でやるか
- ①みんなで勉強
- ②守れる畑作り(餌付け現場の点検etc)
- ③自分でやる園い
- ④駆除、大規模柵

①②③すつばして④からが多い。④からやると失敗する。

- 鳥獣害対策が目的ではない！  
「収穫」すること「楽しむ」ことが目的！

- よくいうパポンの対策とは！？

ラス1！

農作物被害は集落対策(柵や環境整備、加害個体除去等短期的な対策)である程度減少させることは可能でしょう。

しかし、車、電車等の事故や道路、水路等の施設損壊など人命と財産に関わる被害がますます増加していくことと考えられます。

国家国民の生命と財産を守り、また、被害対策の負担増で農業衰退に拍車をかけないためにも

国家戦略としての

●人と動物の棲み分け柵

●国家事業としての個体数調整

などの長期的な対策に着手すべきと考えます。

石油が枯渇しない以上  
かつてのような山林利用  
は望めない！

でも誰に言えば実現するのか。。。

おわり

ありがとうございました